

会報

■長野陸協会報 2027年国体まであと9年

第163号 2018年7月7日

発行所 一般財団法人長野陸上競技協会

発行人 内山了治

編集人 葛城光一 内山良一

U R L : <http://nagano-rk.com/>

E-mail : info07@nagano-rk.com

6/16-17 長野市営 日本選手権 混成競技開催

日本選手権

800m

川元 奨
(スズキ浜松AC)

6連覇

三段跳
石川和義
(長野吉田AC)
2位



十種競技

右代啓祐
(国土舘クラブ)
3年ぶり七回目の
優勝

七種競技

山崎有紀
(スズキ浜松AC)
初優勝



目次

- ②第102回日本陸上競技選手権大会混成競技
- ④長野陸協第8期スタート
- ⑥第20回記念長野マラソン大会
- ⑦第28回長野県市町村対抗駅伝、第14回小学生駅伝
- ⑧第18回アジアジュニア陸上競技大会
- ⑨第25回中学生混成競技、第35回小学生陸上競技大会

- ⑩三重高校総体の展望
- ⑪主要大会結果一覧
- ⑫長野陸協会議録
- ⑬長野陸協からのお知らせ
- ⑭長野陸協年代・支部別審判員数
- ⑮女性部、伊藤副会長知事表彰 他

第102回 日本陸上競技選手権大会 混成競技 開催 (6/16-17 長野市営)

兼 ジャカルタ 2018 アジア競技大会日本代表選手選考会
 第34回 U20 日本陸上競技選手権大会 混成競技
毎回の試練 最大のピンチをチャンスに!
長野陸協実行委員長 内山了治

2012 年第 96 回大会から連続 7 回目の開催となる「日本混成」の今回の「試練」は、大会日が「北信越高校」と重なってしまったこと。これは、6 月第 2 週に日本で初開催となる日本陸連主管の「第 18 回アジアジュニア陸上競技選手権大会」が岐阜市で開催されたためです。これまで高等学校の先生方が中心となり運営をしてきたノウハウがうまく引き継がれるか、理事も 27 名中 6 名が不在となる中で、大会・競技運営が進められるか最大のピンチとなりました。しかしながら過去最多となる本協会審判員 185 名に、日本陸連からは鈴木一弘競技運営委員長が直々に十種競技の審判長を担当され、JTO を含む 22 名の役員派遣、更に東京オリンピックの研修として北海道から鹿児島までの全国各地から 12 名の NTO の方々にもご協力を仰ぎ、本協会審判員と共に業務を担当する中で世界・国内を意識した観点から様々なご指導をいただきました。また、長野陸協でも様々な業務軽減等（審判長を競技毎に集約、フィールドは跳躍と投擲に分けずに一体化し協力体制で臨む、フィールド競技制限時間開始合図の明確化とその徹底、規則修正の再確認、補助員の人数削減など）を試み、昨年のこの大会からスローガンにしている 3 つの Friendly（競技者・観客・審判員）を大切に、3 者が一体となり競技会を盛り上げ、競技者のパフォーマンス発揮・向上を目指す運営を継続し、競技日程どおり問題なく終えることができました。正しく、ピンチをチャンスに置き換えることができた「実りのある競技会」だったと言えます。昨年の大会終了後から、これらの課題対策を含め直接的に業務をご担当頂いた日本陸連事務局事業部競技運営課浅田大悟さんと本協会葛城事務局局長（総務委員長）の昼夜を超えた密なる企画・業務遂行と、日本陸連の皆様方の絶大なるご指導・ご支援、並びにご協力を賜りましたすべての皆様に改めて感謝申し上げます。

表 1 大会基本情報 (エントリー数、役員数)

種目・エントリー数	陸連役員	7 名
十種 20 名、七種 26 名	同 JTO・委員	11 名
U20：十種 17 名、七種 10 名	全国 NTO	12 名
派遣トレーナ 5 名、長野陸協	185 名、補助員	110 名

十種競技 右代啓祐君 (国土舘クラブ) が 3 年ぶり 7 度目の優勝、若い選手が台頭。

初日は「寒い」(最高気温 19.5℃) 中、奥田君 (東海大) が 100m 10 秒 56、400m 48 秒 74 をマークし 4174 点で首位、昨年 U20 日本記録 (7790) で優勝した丸山君 (日大) が 4009 の好記録で 2 位、中村君 (スズキ浜松 AC)、右代君と続いた。2 日目は好天、最高気温 26.5℃ と絶好の条件の中、右代君が円盤投で中村・丸山君との差を縮め、棒高跳 (5m00) で首位に立ち、得意のやり投で差を広げ逃げ切った。2 位には中村君、3 位に丸山君、4 位に奥田君が入賞した。

2	1	3	4	5	6	7	8
7849	7944	7752	7472	7412	7233	7199	7092
中村 明彦 スズキ浜松AC	右代 啓祐 国土舘クラブ	丸山 優真 日本大	奥田 啓祐 東海大	森本 公人 daisan	潮崎 傑 日本大	川崎 和也 渡辺ハイブ	二枚田 一平 Team綺羅星

七種競技 山崎有紀さん (スズキ浜松 AC) が初優勝、歴代 3 位の高得点。県陸協推薦細田真央さん (日体大-上田染谷丘高出) は自己新で 14 位。

初日トップの山崎さんが 2 日目走幅跳でヘンプヒル恵さん (中央大) に逆転されたが、続くやり投で 5 点差の再逆転、最終の 800m で 4 秒 78 の大差をつけて初優勝した。4 連覇を目指したヘンプヒルさんは体調が万全ではなかったとのことである。

2	1	3	4	5	6	7	8
5766	5836	5536	5495	5435	5411	5226	5217
ヘンプヒル 恵 中央大	山崎 有紀 スズキ浜松AC	桐山 智衣 ヤマダ電機	宇都宮 絵莉 長谷川体育施設	西村 莉子 三菱電機	伊藤 明子 筑波大	安田 夏生 広島大	南野 智美 早稲田大



上：男子2日目110mH、左端が種目優勝の丸山君(14秒08 +0.2)
左：女子1日目100mH、右端が種目優勝の♡プヒル恵さん(13秒68 +1.6)

第34回U20日本陸上競技選手権大会 混成競技

太田杏優さん(武庫川女子大・市立長野高出)は、復調の兆しが見え、4400点で7位入賞を果たした。



川上 ヒデル	市川 翔太	北村 一真	上地 海斗	前川 斉幸	瀬川 大树	鈴木 琢丸	安倍 将人
関西学院大	福岡大	東京学芸大	近畿大工業高専	中京大	日本大	千葉商科大	日本体育大
6998	7040	6803	6793	6703	6660	6476	6370



高瀬 唯奈	堀内 美沙樹	猪岡 真帆	中村 雪乃	田中 恵子	尾形 奈那美	太田 杏優	川西 もも
中京大	東京女子体育大	中京大	東京女子体育大	東京学芸大	千葉商科大	武庫川女子大	東大阪大
4769	4861	4745	4741	4739	4526	4400	4328



4位入賞の宇都宮絵莉さん(長谷川体育施設)応援団一長谷川体育施設(株)佐藤辰夫代表取締役社長はじめ社員の皆様方。

者の参加を得てその意気込みを会場で受け止め、激励しました。加藤久雄長野市長の「ドラゴンボールより威力がある」という「鉄砲玉」の激励で、100名余りの会場は最高に盛り上がりました。



尾縣日本陸連専務理事、原山長野県教育長、萩原長野陸協会長が選手激励後に大会成功を期して固い握手

***** レセプションを前日に実施 *****



過去6回、この会は日本選手権出場競技者の指導者と長野県内の指導者の交流が主目的で、指導のノウハウ、日本トップレベルに引き上げる方法、競技運営等について学ぶ機会としてスタートし、大会初日に実施してきました。今回は初めて競技

このような流れは世界的なものだそうで、5月下旬オーストリアで開催されている、世界トップレベルの競技者が集うゲツィス「ハイポ混成競技大会」でも行われ、この大会の様子も、松田克彦東京オリンピック強化コーチ(長野県出身、十種競技日本選手権者)に披露していただきました。

冬季オリンピック開催都市「長野市」が、人口1万人のゲツィスに迫れるか？ 日本陸連風間事務局長のご提案を含め、混成競技を更に盛り上げ競技力を高めるために、様々な工夫や演出の果敢な挑戦も必要であると感じています。

第8期 スタート 一般財団法人長野陸上競技協会 代表理事 内山了治

去る6月1日(金)に第17回長野陸協評議員会(定時)を開催し、平成29年度の事業報告及び決算と平成30年度一般会計第一次補正予算についての決議、並びに第38回理事会決議事項の報告等を行い、原案どおり承認されましたので、以下にご報告申し上げます。

議案 第1号 2017年度事業報告

2017年度は役員改選の年で、6月2日に開催された第14回評議員会において理事と監事が選任され、代表理事2名は継続、理事9名と監事2名が交代し第7期がスタートした。組織では総務委員会に女性部を新設し、女性会員並びに審判員の増加と女性が活躍しやすい環境作りのための諸施策についての検討や、日本陸連研修会への参加(要覧P56-62で詳細報告済み)等の活動を進めた。また、事務局長は葛城総務委員長が兼務することになり、長野市在住ではないため負担が大きいが、各事務局の担当業務を明確にし、取り組んだ。

事業全般については、日本陸連主催大会として第19回長野マラソンの開催ほか、8月に第52回全国高専大会を主管し、参加者の好評を得て終わることができた。国体では天皇盃11位、皇后盃9位、都道府県対抗駅伝では男子2位、女子9位という結果を収めた。

また、2027年の長野国体に向けては4プロジェクトを8月に立ち上げ、早速長野県関係者との懇談を持つなど、取り組みを始めた。その他、各種規程の見直しや定款に掲げている事業について、関係団体とも連携を取りながら進めた。

1. 陸上競技の普及に関する事(詳細は2018年度要覧P.38に掲載済み、以下同様)

2. 強化・育成に関する事、長野県の代表選手を選定し派遣すること(2018年度要覧P35-P40)

選手強化育成事業、派遣事業とも例年通り実施し、主な成果は次のとおりである。

(1) 第72回国民体育大会(愛媛県)

成年女子三段跳 宮坂 楓 優勝、成年男子800m 川元 奨優勝他11種目入賞、得点55点。

天皇杯得点 65.0点(参加点10点含む) 競技別順位 11位/47(H28は76.5点で10位)

皇后杯得点 41.0点(参加点10点含む) 競技別順位 9位/47(H28は50.5点で6位)

(2) 皇后杯第36回全国都道府県対抗女子駅伝 1月14日(京都市) 9位 2時間17分47秒

(3) 天皇盃 第23回全国都道府県対抗男子駅伝 1

月21日(広島市) 2位 2時間19分56秒

(4) その他・世界陸上(荒井選手50kmW銀メダル)、ユニバーシアード(細田女10000m銅メダル)、デカネーション(原、川元、今井、宮坂)、日中韓対抗(和田女1500優勝)・日本選手権(長野県出身者含む 優勝3、入賞8)・高校総体(入賞8)、全国中学(入賞4)・ジュニアオリンピック(優勝1、入賞4)・小学生交流大会(入賞1) これらの内容から一定の事業評価はできると考える。

日本代表として多くの選手の活躍があり、これらは今日までの長期的な強化育成の成果といえる。今後は限られた予算や環境のなかで、長野県らしい強化策を練り、全国で活躍し世界に通じる競技者の継続的育成に努めなければならない。

3. 長野県における陸上競技の大会及び記録会を開催すること(2018年度要覧P80-P116)

2017年度の競技会を予定どおり無事終了できた。今年度大きな変更点はなく、7月の長野県選手権大会を長野陸協創立70周年記念大会として開催。長野マラソン併設の第70回長野県選手権マラソン競技並びに6月の日本選手権混成競技と同時開催の第70回長野県選手権混成競技もそれぞれの主催者のご理解により「長野陸協創立70周年記念大会」として開催できた。特に、7月の長野県選手権は招待選手を招き、各種目に於いて質的な高まりが見受けられた。

全国規模の大会としては、4月に第19回長野マラソン、6月に第101回日本陸上競技選手権大会混成競技と8月に第52回全国高専大会を主管し、それぞれ無事に競技会を終えることができた。

その他、トラック主催大会8(春季、県選手権、県選手権混成競技、県選抜陸上競技長野市大会、県小学生、県中学通信、東日本医科学生、関東聾学校)、トラック共催大会9(長野県高校、実業団、マスターズ、北信越学生、マスターズ佐久、県障がい者、県高校新人、県中学新人長野・松本)、記録会4(スプリング・サマー・オータムトライアル、ジュニアゲームズ)、道路競技大会8(松本マラソン、長野県縦断駅伝、市町村対抗駅伝、県高校駅伝、県中学駅伝、北信越中学駅伝、春の高校伊那駅伝、白馬クロスカントリー)を主催し、長野県の陸上競技の普及と振興、並びに競技力向上を図った。

大きな課題として、長野県縦断駅伝を存続するために、参加チームの規則遵守、「規則遵守」を共

通理解・根底にした大会・競技運営ならびに、危険箇所のコース変更やチーム数縮小等による安全確保や渋滞対策、経費全般の削減について、陸協としても検討していくことが挙げられた。

競技運営についてはこれまでのアスリートファーストの視点に加え、競技者（Athlete）、観客（Spectator）、審判員・スタッフ（Referee）が一体（Friendly）となるという視点を尊重・実践し、まさしく会場が一体となって競技会を盛り上げ、競技者のパフォーマンス発揮・向上を目指す運営を心掛けた。大会終了直後に細部にわたる反省会を開き改善策を随時フィードバックしたこと、並びに、日本混成大会の実施等により、中央各種大会同様の運営レベルに近づき、どの競技会もほぼトラブルなく実施できた。今後はさらに競技役員個々のスキルアップと陸協としての組織力・運営力を高めたい。また、収支バランスに配慮した競技役員の編成等も課題といえる。

4. 陸上競技の指導者を養成すること

- (1) 日本体育協会公認指導者資格取得研修会へ2名（小川裕樹先生・佐藤賢一先生）を派遣し、両名とも「陸上競技公認コーチ」の資格を取得した。
- (2) 長野国体にむけて指導者育成が競技力向上の鍵となる。ジュニアコーチ養成がポイントである。
- (3) 公認指導者の資格有効期限の確認と義務研修会開催については、県内で実施できなかった。

5. 審判員及び検定員の資格付与に関する事

2017年度はS級昇格公認審判員について4名を日本陸連に推薦し全員が承認され委嘱された。A級昇格審判員は各支部推薦の候補者を、競技運営委員会で審査し要件を満たした14名を理事会で承認し日本陸連が委嘱した。B級審判員新規取得者については、競技運営委員会で審査し52名を理事会で承認し日本陸連が委嘱した。

東京オリンピックに向けたIAAF審判・NT0試験に、長野陸協推薦の3名（玉城良二副理事長、酒井剛理事、横打史雄理事）とJT0の青柳智之理事が見事合格し、研修を重ねた後に東京オリンピック、パラリンピック審判員を担当することになる。

また、2018年度第73回福井しあわせ元気国体協力審判員について、福井陸協から本協会に2名（マーシャルと跳躍）の協力要請があり、横打史雄理事、山崎将文競技運営委員（跳躍：福井県出身）の2名を派遣することを理事会で確定した。

6. 陸上競技を研究し、機関紙、刊行物を発行して情報を提供すること

2017年度要覧を平成29年4月23日発行した。長野陸協会報は、160号（9月30日）、161号（12月28日）、

162号（H30年3月25日）をそれぞれ発行した。また、「長野陸協創立70周年記念誌」を、平成30年1月に発行した。本協会ホームページ上では、各種事業・大会、日本陸連、日本体育協会、県体育協会、本協会協賛企業等の情報を随時更新し提供している。

また、初の試みとして、2018年3月25日の「長野陸協審判講習会」の午後の時間に、2027国体に向けて、国体の準備概要ならびに、特別講演を実施した。講師は、森谷敏夫先生（京都大学名誉教授、京都産業大学客員教授、中京大学客員教授、（株）運動医科学研究所 所長）、題目は「最新のトレーニング科学」で、90分にわたり講演をいただいた。250名余りの会員が熱心に受講した。

7. その他、この法人の目的達成のために必要な事業を行うこと

- (1) 2027年に開催が予定される2巡目の長野国体に向けてプロジェクトを立ち上げた。
- (2) 長野陸協各種規程等を見直した。

議案 第2号 2017年度決算報告

第2期（H24）以降実質的に赤字財政であったが、第7期2017年度は822万円の黒字決算となった。このことは、2013年から継続的に支出された全日本中学大会関係の選手強化費・大会運営費、長野陸協創立70周年記念事業、荒井選手祝賀会、都道府県駅伝優勝祝賀会などの事業費支出が昨年度は無かったこと、事務局が様々な経費削減に努めたこと、太田しなのメイト会長の多額な強化費寄付、萩原会長を筆頭に協賛金を獲得できたこと、更に小川経理部長、落合事務員、小矢沢事務員の迅速な会計処理などによるものと言える。登録費削減による収入減少もカバーできたが、未だに赤字となる大会もあり、審判人数の適正化等も図り、今後も経営努力を継続する必要がある。

議案 第3号 2018年度第一次補正予算

2017年度の決算を受け、一部補正案を提出し、原案どおり承認された。

その他

2018年度事業計画については、第16回評議員会で認められ、2018年度要覧P18-22に掲載済みですので、ご高覧下さい。また、今年度は理事、監事の改選期となります。改選に係わる方法論等が確立しておりません。各支部協議員、四地区の会長・理事長を中心に、議論を深めていただきたいと思います。2018年度もスタートしておりますが、よろしくごお願い申し上げます。

第20回 記念長野マラソン大会(4/15) 大会組織委員会事務局次長 伊藤 利博

第20回記念長野マラソン大会を振り返って 副会長 伊藤 利博

二十歳を迎えた記念すべき長野マラソンは、事故もなく無事に終了することが出来、ほっとしているところです。大勢の皆様方の大きな力が結集されて、各部署の持ち味が生かされ、責任を持って任務にあたった結果かと思えます。長野マラソンは20年の年月の中で一步一步前進してきたと思えます。それは大会終了後に各パートで真剣に議論し、二度と失敗を繰り返さない、常にランナーサイドに立った考えを持って歩んできたことが、人気のマラソンに発展してきたと思っています。

このマラソンには長野オリンピックのレガシイを受け継いで来たといわれておりますが、それはボランティアの方々から多くを学んできた結果であると思っております。オリンピックを経験されたボランティアの皆様方が、長野に集ったオリンピック選手を大切にしていたことが、私達の競技運営にも何らかの影響を与えていると考えております。おもてなしの心、選手を後押しする声援こそが、選手サイドに立った競技運営かと思えます。

成人を迎えた長野マラソンは、オリンピックのレガシイをしっかりと受け継ぎ、後世へ繋げていかなければと思っております。そして長野マラソンの更なる発展を願っています。



女子優勝 古瀬 麻美



男子優勝 アブデラ・ゴダナ

- <男子> 1位 アブデラ・ゴダナ エチオピア 2:13:54
- 2位 棟方 雄己 カネボウ 2:14:21
- 3位 市田 宏 旭化成 2:14:42
- <女子> 1位 古瀬 麻美 京セラ 2:34:09
- 2位 床呂 沙紀 京セラ 2:36:21
- 3位 奥野 有紀子 資生堂 2:36:44

併設 第70回長野県選手権大会マラソン競技



順位(全体)	氏名	市町村	所属	記録
1 (17)	小山 祐太	東御市	コトヒラ工業	2:23:10
2 (21)	所河 北斗	東京都	東京経済大学	2:25:04
3 (24)	北沢 正親	東御市	コトヒラ工業	2:25:41
4 (25)	塩原 大	松本市	松商学園高校	2:25:53
5 (28)	牛山 純一	茅野市	茅野市役所	2:26:22
6 (29)	岩淵 良平	諏訪市	諏訪市陸協	2:26:38
7 (35)	松久 哲治	上田市	上田市陸協	2:29:25
8 (37)	西沢 紀元	大町市	昭和電工大町	2:29:31



順位(全体)	氏名	市町村	所属	記録
1 (5)	小田切 亜希	長野市	竹村製作所	2:44:16
2 (9)	浅田 志帆	上田市	八十二証券	2:55:32
3 (11)	小林 美香	長野市	長野市陸協	2:57:52
4 (15)	鹿野 恵利子	長野市	チーム北斗号	3:09:41
5 (18)	表 知史	松本市	八十二銀行	3:13:33
6 (21)	南波 直美	中野市		3:16:05
7 (22)	佐塚 裕美子	佐久市		3:17:47
8 (40)	高原 淳子	長野市	長野 A C	3:26:20



写真上：高橋尚子さんはじめ全ゲストに囲まれ最終ランナーがフィニッシュ

左：2007年第9回大会から事務局を担当された前島信一さん(信濃毎日新聞社事務局：写真中央)は、本大会が最後の担当となる。数々の新企画ありがとうございました。長い間お疲れ様でした。

第28回長野県市町村対抗駅伝 第14回長野県市町村対抗小学生駅伝



優勝 松本市
監督 渋谷 昌英

6年ぶり2回目の優勝を果たすことができました。近年はあと一歩のところまで優勝を逃していただけに、チームは“今年こそ”という強い気持ちで臨みました。

レースは、選手全員が気迫ある走り役割を果たし、描いていた通りの展開となりました。1区から先頭に立ち勢いがつき、前半の5区までに2位との差を1分9

秒としました。後半は徐々に差を詰められるも先頭をキープ。アンカーに襷が渡った時には13秒差まで迫られましたが、冷静な走り逆で差を広げて歓喜のゴールテープを切りました。

今年のチームは若い選手が中心であり、選手はこの優勝の喜びと経験を今後の競技生活に生かし、更に成長してくれるものと確信しています。また、来年の連覇を目指し今後も練習に励みチーム力向上に努めていきたいと思ひます。

最後に大会運営頂きました長野陸協、関係の皆様、そしてご支援頂きました皆様に感謝とお礼を申し上げます。



<写真>
 左上：松本市 野部 勇貴君
 右上：上田市 内堀 翼君
 左：小学生駅伝スター渡辺雅義
 SBC信越放送(株)代表取締役社長
 左下：第一区走者
 右下：優勝インタビューを受ける
 上田市チーム

大会日：4月28日(土)
 会 場：松本平広域公園陸上競技場



優勝 上田市
監督 ビルレットィ

今大会は風がほとんどない理想的なコンディションでした。選手一人一人が積極的な走り役割を出し切ってくれて、連覇を達成することができました。連覇を目標に掲げていましたが、選手がプレッシャーを感じることはないよう「楽しく走ろう」と声掛けをし、当日のウォーミングアップでも、楽しい雰囲気を作ることを大切にしました。

レースでは、1区北村選手(10才・4年生)は初めての代表としてよく走ってくれました。2区の滝沢選手も、大会参加が初めてでありながら積極的な走り役割で最初にチームを先頭に立たせてくれました。3区の中村選手、4区の内堀選手、一人一人が伸び伸びと自分の走りをしてきて、一度もトップを譲ることなく走り切ってくれました。控えの林選手と成澤選手も自ら進んでサポートをしてきて、とても心強かったです。このようにチーム一丸となって臨むことができた結果、勝ち取ることができた連覇だと思います。

来年に向けては、今回のメンバーのうち3人が4、5年生ですので、4連覇の期待もあり楽しみなチームです。

終わりに、本大会を迎えるにあたって、ご支援・ご声援いただきました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。



第18回 ASIAN JUNIOR ATHLETICS CHAMPIONSHIPS GIFU JAPAN

アジアジュニア陸上競技大会を振り返って 副理事長 玉城 良二



No. 167 中谷君

内山理事長のご厚意により、6月7日から10日に岐阜県メモリアルセンター長良川陸上競技場で開催された第18回アジアジュニア陸上選手権大会を様々な方面から学ぶ機会を与えていただきました。

競技会場は、岐阜駅より車で20分程度のほどよい立地条件にあり、2012年岐阜清流国体の主会場として改装された国際大会を開催するには十分な環境です。また、今回は岐阜県知事の熱き思いでの国際大会の誘致ということで、会場一帯を盛り上げるイベントも同時開催し一校一国運動という長野オリンピックのレガシィも取り入れて、地元歓迎の盛り上がりを感じました。競技場は1万3千人集客レベルとのことですが、競技フィールドと観客席の距離感、位置関係が非常に優れており、長野国体競技場新設のモデルにふさわしいと感じました。

競技運営は岐阜陸協と日本陸連が連携して、国際大会にふさわしい競技運営をしていましたが、主催はアジア陸上競技連盟で、アジア陸連とは名ばかりで、かなり適当な競技役員編成や運営組織になっていると感じました。国際大会ならではの、日本人は本当にまじめな人種、集団だと感じました。詳しくはスタートコーディネーターとして参加された青柳競技運営委員長にお聞きください。

長野県関係の本大会出場者は、男子10000mに中谷雄飛（早稲田大学-佐久長聖高出）、男子3000mSCに山本嵐（城西大学-佐久長聖高出）、女子3000mに和田有菜（名城大学-長野東高出）の3名が参加し、高校から大学生という生活環境や練習変化のある時期でしたが、中谷君と和田さんは銀メダル獲得と日本のメダル量産に貢献をしていました。



レース後の和田さん

このような国際大会の開催は本当に大変なことです。県、市はもちろん各種団体の協力と支援により開催が可能になります。本県でも国体に向けて県や開催市町村、民間企業の協力のもと国際大会開催可能な競技施設と競技運営体制の確立が何よりの課題であると思います。

<出場種目と結果>

6/8 男10000m	中谷雄飛 早稲田大学	30:04.24	銀メダル
	三浦拓朗 中央大学	30:55.80	4位入賞
6/9 男3000mSC	吉田 匠 早稲田大学	8:52.79	銀メダル
	山本 嵐 城西大学	9:02.41	4位入賞
6/10 女3000m	田中希実 ND28AC	9:04.36	CR 金メダル
	和田有菜 名城大学	9:14.13	銀メダル



No. 168 集団を引っ張る山本君

- ・アジア陸連TDと連携する青柳競技運営委員長(スタートコーディネーターを務める)
- ・開会式はスタンドが満杯になった(6/7)



第25回 長野県中学校陸上競技混成競技大会 6月9日(土) 松本平広域公園

長野陸協理事 ジュニア部長 酒井 剛

第45回全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録突破対象競技会となる本大会では、女子において3名の選手が全国中学参加標準記録(2630点)を突破した。

中でも昨年の熊本全中において2年生ながら同種目で6位に入賞した土屋ほのかさん(軽井沢)が、自身のもつこれまでの県中学記録を更新し、3000点に迫る2999点で優勝した。この得点を昨年の全国中学に当てはめるとメダル圏内に入っており、この種目では初となる全中上位入賞と3000点超えが期待される。また、土屋さんは当日の100mHにおいても14秒05の県中学記録を樹立しており、ジュニアオリンピック(年齢区分の関係でBクラス)での活躍も期待される。

同種目2733点で2位になった市村彩美さん(軽井沢)、2699点で3位になった小林弓珠さん(南宮)はいずれも走高跳において今季1m63のベスト記録を有し、ジュニアオリンピック参加標準記録(1m63)を突破、県中学総体及び通信大会では単独種目での全国中学参加標準突破(1m60)を目指す。

男子では、土屋海斗くん(上田第五)が2343点で



全国標準記録を突破した3選手。右から土屋・市村・小林さん

優勝、瀧内善基くん(篠ノ井西)が2335点で続いた。男子の全国中学参加標準記録は2500点と、まだその点数には差があるが、県中学総体及び通信大会において少しでも迫れるような活躍に期待したい。

本大会における女子の入賞ラインは2300点、男子の入賞ラインは2000点と、1000点代後半でも入賞できていた数年前に比べ、全体のレベルが上がり、県内の層が厚くなっていることがうかがえる。これも、長野陸協から年間を通じて選手強化の支援をいただいていることと、ここ数年の反省及び傾向から、指導者が積極的に県外遠征へ出かけ、心身ともにたくましく育成していただいている成果であると推測される。岡山全中及びジュニアオリンピックでの活躍を期待して見守っていききたい。

第35回 長野県小学生陸上競技大会 6月24日(日) 松本平広域公園

長野陸協理事 普及部長 篠原 克修

女子4×100mで長野県小学生記録誕生

長野県小学生陸上競技大会は梅雨の晴れ間の爽やかなコンディションの中、開催されました。

地区予選から勝ち上がった268チーム、1213名の小学生アスリート達は元気よく、力一杯競技しました。競技結果では4種目で大会新記録が誕生し、そのうち女子4×100mの坂城JACは全国大会上位入賞レベルの県小学生記録53秒01をマークしました。このような素晴らしい記録が誕生する一方で、子ども達は決勝進出・自己ベスト・仲間と団結する等目標達成のためにがんばりました。

そして何より、少子化で多くのスポーツの選択肢のある中、小学校・クラブチームの先生方が熱心に温かいご指導をいただけるおかげで多くの子ども達が陸上競技をできることも感謝に堪えません。

今後も、子ども達にとってかけがえのない一日、一生の思い出の陸上競技大会となるような運営を

して、普及育成に繋げて行きたいと思います。

全国交流大会並びに東海小学生陸上競技大会へ進出できる皆さん、長野県の代表という自覚を持って、涙をのんだ仲間の分まで頑張ってください。活躍を大いに期待しています。そして、競技を継続し、2027長野国体や様々な大会に向かって挑戦して下さい。桐生選手や山縣選手に替わって、「あなた」がスタートラインに立っているかも知れません。無限の可能性に挑戦して下さい。



女子4×100m決勝 スタート前のパフォーマンス 優勝した坂城JRCチーム

三重高校総体の展望・・・男子31名、女子34名が出場

長野陸協 理事 細田 健司
長野県高体連陸上競技専門部 委員長

今年度の北信越総体は、福井県福井県営陸上競技場で6月14日～17日の日程で行われました。長野県の選手は、男子17種目31名、女子14種目34名の選手がインターハイ出場を決めました。昨年度は、男子37名、女子28名の合計65名でした。

今年度のインターハイは、8月2日～6日に三重県伊勢市で行われます。男子の有力選手は、800mで1.52.55の記録を持つ長野高専の高橋君、長距離では1500mの富田君、服部君、5000mの服部君、鈴木君、3000mの三島君、小池君の佐久長聖勢、5000mW 長野工の鈴木君、東海大諏訪の小林君、石井君、400mH岡村君(岩村田)、八種競技穂刈君(松商学園)などがあげられます。女子は、三段跳の宮澤さん(諏訪二葉)、800m・1500m・3000mに出場する萩谷さん、高松さん、小林さん、小原さんの長野東勢、5000mW 落合さん(東海大諏訪)、棒高跳北村さん(長野工)らに期待がかかります。

昨年度は、男女合わせて7名8種目で入賞しました。今年度も、優勝者を含め、昨年以上の入賞者がでることを期待しています。

第57回北信越高校対校選手権大会 長野県の優勝者



5000mW 落合さん



800m 高橋君



5000m 服部君



400mH 岡村君



八種 穂刈君



5000mW 鈴木君 棒高跳 北村さん



1500m 萩谷さん



3000m 高松さん

2018年(4/15~6/17) 主要大会結果一覧 (まとめ 理事記録部長 瀧沢佳生)

(KR: 県新記録 HR: 県高校生新記録 JR: 県中学生新記録 GR: 大会新記録 GT: 大会タイ記録)

◆第71回長野県選手権大会(マラソン)
期日：平成30年4月15日
場所：長野マラソンコース
※第20回長野マラソン同時開催
P6に掲載

◆第58回長野県陸上競技春季大会
期日：平成30年4月21-22日
場所：松本平広域公園陸上競技場

【男子】

- ▶100m (+1.2)
 - ①中嶋 謙 (松商学園高3) 10.70
 - ②西村 陽杜 (松商学園高3) 10.71
 - ③宮下 翼 (市立長野高3) 10.90
- ▶200m (+0.9)
 - ①樋口 一馬 (法大2) 21.00
 - ②岩田 晃 (ライフメッセージAC) 21.24
 - ③宮下 翼 (市立長野高3) 21.48
- ▶400m
 - ①中野 直哉 (飯田病院) 47.55(GR)
 - ②三澤 駿之介 (信州大4) 48.22
 - ③小林 英和 (ライフメッセージAC) 48.35
- ▶800m
 - ①中島 大智 (信州大4) 1:55.94

- ②小澤 大輝 (大町岳陽高3) 1:57.58
- ③北原 崇志 (EASTERS) 1:57.63
- ▶1500m
 - ①古山 雄一郎 (信州大4) 4:11.76
 - ②北原 崇志 (EASTERS) 4:11.82
 - ③野村 純也 (上田西高3) 4:12.56
- ▶5000m
 - ①原 広野 (上伊那郡陸協) 15:03.99
 - ②宮入 一海 (北佐久郡陸協) 15:05.95
 - ③金澤 拓則 (諏訪市陸協) 15:34.71
- ▶110mH(1.067m)(-0.5)
 - ①東山 由輝 (ライフメッセージAC) 15.01
 - ②小林 涼 (信大医陸) 15.13
 - ③酒井 和馬 (上伊那農高3) 15.32
- ▶400mH(0.914m)
 - ①中野 直哉 (飯田病院) 50.62(GR)
 - ②小林 英和 (ライフメッセージAC) 51.15(GR)
 - ③小林 航 (松本大4) 51.65
- ▶3000mSC(0.914m)
 - ①割田 雄磨 (長野市陸協) 9:33.61
 - ②水野 裕司 (信州大2) 9:44.24
 - ③武田 優介 (長野高3) 9:48.58
- ▶5000mW
 - ①鈴木 英司 (長野工高3) 21:50.78

- ②小林 亮太 (東海大諏訪高2) 22:03.61
- ③中島 明佳 (長野工高3) 23:06.07
- ▶走高跳
 - ①芋川 駿 (法大4) 2.10
 - ②片平 大地 (長野吉田AC) 2.01
 - ③丸山 拓哉 (松本大3) 2.01
 - ③宮坂 夏輝 (諏訪清陵高3) 2.01
- ▶棒高跳
 - ①中山 蓮 (高遠高3) 4.30
 - ②竹内 優 (長野吉田高3) 4.20
 - ③鎌倉 慎太郎 (下諏訪向陽高2) 4.10
- ▶走幅跳
 - ①穂苅 康人 (松商学園高3) 7.19(+0.7)
 - ②松本 陸 (諏訪二葉高3) 7.18(+2.6)
 - ③日向 一機 (信州大院) 7.17(+0.9)
- ▶三段跳
 - ①日向 一機 (信州大院) 14.92(+1.1)
 - ②小野澤達也 (松本大4) 14.60(-0.8)
 - ③井上 健次 (長野市陸協) 14.15(+2.2)
- ▶砲丸投(7.260kg)
 - ①米倉 朋輝 (新潟医福大3) 13.77
 - ②竹村 地智 (国武大2) 12.24
 - ③松野 太輝 (かもしか倶楽部) 10.01

▶円盤投(2,000kg)

①米倉 朋輝	(新潟医福大3)	42.27
②北村 将也	(同志社大2)	40.52
③神田 郁実	(長野市陸協)	39.25

▶ハンマー投(7,260kg)

①神田 郁実	(長野市陸協)	56.09
②東井 航平	(信州大4)	49.72
③上原 隆伸	(ターミガンス長野)	42.46

▶やり投(800g)

①岩崎 まお	(新潟医福大3)	65.07
②中野 龍星	(松本県ヶ丘高3)	58.86
③上條 俊	(長野高専4)	56.72

▶4×100m

①松本大	(小林・水島・成澤・斉藤)	41.68
②信州大	(相川・本多・三澤・松井)	41.93
③市立長野高	(宮下・池田・伊東・児玉)	42.08

▶4×400m

①ライフメッセジAC	(岩田・小林・浦野・近藤)	3:17.13(GR)
②松本大	(輪湖・花形・水島・小林)	3:19.03(GR)
③市立長野高	(宮下・池田・伊東・児玉)	3:19.49

▶高校 砲丸投(6,000kg)

①藤井 隆聖	(飯田高3)	12.95
②高橋 理人	(須坂創成高2)	12.83
③金子 周平	(松本工高3)	12.68

▶高校 円盤投(1,750kg)

①小林 篤央	(上田高3)	39.29
②萩原 倅司	(梓川高3)	36.22
③小林 翔一	(須坂創成高2)	33.13

▶高校 ハンマー投(6,000kg)

①萩原 倅司	(梓川高3)	49.69
②末元 昂成	(阿南高3)	46.45
③山田 勇里	(梓川高2)	46.07

▶少年共通 110mH(0.991m)(-0.6)

①原 惇也	(佐久長聖高1)	15.79
②宮澤 武流	(佐久長聖高1)	15.83
③飯島 大陽	(佐久長聖高1)	16.18

▶少年B 3000m

①伊藤 大志	(佐久長聖高1)	8:50.38
②山川 拓馬	(箕輪中3)	9:07.99
③依田 健汰	(上田西高1)	9:09.90

▶少年B 砲丸投(5,000kg)

①永田 智哉	(諏訪二葉高1)	10.92
②下平 朱莉	(春富中3)	9.27
③土屋 海斗	(上田第五中3)	9.15

【女子】

▶100m(+0.6)

①瀧澤 祐未	(with)	12.48
②河田 璃音	(市立長野高2)	12.55
③深澤 あまね	(佐久長聖高1)	12.58

▶200m(+1.1)

①河田 璃音	(市立長野高2)	25.19
②唐澤 花実	(市立長野高2)	25.29
③秋山 咲花	(岩村田高3)	25.73

▶400m

①樋口 虹夏	(松商学園高3)	57.62
②唐澤 花実	(市立長野高2)	58.28
③戸田 麻由	(国武大4)	58.61

▶800m

①上條 麻奈	(東北大3)	2:15.51
②高安 結衣	(長野東高3)	2:15.53
③中村 朱	(長野東高3)	2:16.67

▶1500m

①小原 茉莉	(長野東高2)	4:37.19
②高木 更紗	(長野東高2)	4:40.14
③中村 朱	(長野東高3)	4:45.22

▶3000m

①萩谷 楓	(長野東高3)	9:28.39(GR)
②千葉 麻里子	(長野東高2)	9:34.73(GR)
③小原 茉莉	(長野東高3)	9:46.38

▶100mH(0.838m)(-0.7)

①林 千尋	(上伊那農高2)	15.23
②永原 朱夏	(市立長野高3)	15.48
③田中 風紗音	(上田高2)	15.76

▶400mH(0.762m)

①南澤 明音	(松本大3)	1:02.31
②金森 佑奈	(伊那北高3)	1:03.41
③山崎 萌々子	(長野高専3)	1:03.79

▶2000mSC(0.762m)

①高安 結衣	(長野東高3)	7:08.66
②北原 千菜	(長野東高2)	7:31.76

▶5000mW

①落合 早峰	(東海大諏訪高3)	24:27.64
②平澤 優佳	(松川高3)	26:45.66
③畑野 実優	(松本国際高3)	27:42.81

▶走高跳

①小野 美紗	(日女体大4)	1.75(GR)
②片平 真理子	(長野吉田AC)	1.70
③小林 弓珠	(南宮中3)	1.61

▶棒高跳

①北村 美結	(長野工高3)	3.30
②小林 由依	(下諏訪向陽高1)	3.30
③清水 愛奈	(高遠高2)	2.70

▶走幅跳

①榊原 南実	(信州大院)	5.69(+1.6)
②西村 千明	(東学大3)	5.59(+2.8)
③長谷尾 彩華	(大町岳陽高2)	5.35(-1.5)

▶三段跳

①宮澤 歩	(諏訪二葉高3)	12.34(-1.7)
②木田 沙耶	(松本大2)	10.78(+1.2)
③土屋 さくら	(岩村田高3)	10.57(+2.5)

▶砲丸投(4,000kg)

①巾 こと美	(木曾青峰高3)	11.81
②佐藤 芹香	(東女体大3)	11.71
③小林 弥希	(松商学園高2)	11.40

▶円盤投(1,000kg)

①溝口 佳歩	(佐久長聖高2)	36.584.04
②小林 幸音	(飯山高2)	34.00
③武藤 衣里加	(野沢南高3)	33.12

▶ハンマー投(4,000kg)

①佐藤 芹香	(東女体大3)	48.54
②小林 幸音	(飯山高2)	37.89
③藤本 優佳	(木曾青峰高3)	37.34

▶やり投(600g)

①井口 華穂	(新潟医福大院)	50.71
②湯本 珠実	(新潟医福大1)	43.34
③濱 麗	(ライフメッセジAC)	43.21

▶4×100m

①市立長野高	(河田・唐澤・田村・永原)	47.90(GR)
②東海大諏訪高	(徳竹・小林・今井・北岡)	48.77
③松商学園高	(内川・伏見・友田・樋口)	48.79

▶4×400m

①東海大諏訪高	(北岡・今井・小林・小林)	3:58.27(GR)
②松商学園高	(深澤・友田・内川・樋口)	4:03.00
③長野日大高	(一由・内山・春日・下田)	4:05.59

▶少年B 100mH(0.762m)(-0.8)

①中津 晴葉	(佐久長聖高1)	14.75(GR)
②塚田 菜々	(佐久長聖高1)	15.35
③小林 万莉	(長峰中3)	16.61

◆第28回長野県市町村対抗駅伝競走大会
 期日：平成30年4月28日
 場所：松本平広域公園・周辺道路
 陸上競技場発着9区 42.195km

▶総合

①松本市	2:13:41(GR)
②長野市	2:14:13(GR)
③箕輪町	2:14:42(GR)
④飯田市	2:16:42(GR)
⑤上田市	2:17:54(GR)
⑥諏訪市	2:17:55(GR)
⑦高森町	2:19:16
⑧安曇野市	2:19:45

▶町の部

①箕輪町	2:14:42
②高森町	2:19:16
③富士見町	2:26:51

▶村の部

①松川村	2:28:02
②栄村	2:29:09
③木島平村	2:31:47

◆第14回長野県市町村対抗
 小学生駅伝競走大会
 期日：平成30年4月28日
 場所：松本平広域公園内コース
 陸上競技場発着 4区間 6.1km

▶総合

①上田市	21:43
②松本市	22:09
③安曇野市	22:14
④飯田市	22:18
⑤山形村	22:19
⑥諏訪市	22:21
⑦駒ヶ根市	22:29
⑧小諸市	22:42

▶町の部

①佐久穂町	22:59
②高森町	23:07
③飯綱町	23:07

▶村の部

①山形村	22:19
②原村	23:07
③下條村	23:21

◆第63回長野県高等学校陸上競技対
 校選手権大会
 期日：平成30年5月25-27日
 場所：松本平広域公園陸上競技場

【男子】

▶100m(+0.7)

①西村 陽杜	(松商学園3)	10.53
②中嶋 謙	(松商学園3)	10.64
③宮下 翼	(市立長野3)	10.79

▶200m(+0.6)

①西村 陽杜	(松商学園3)	21.40
②宮下 翼	(市立長野3)	21.51
③中嶋 謙	(松商学園3)	21.72

▶400m

①高橋 和真	(長野高専3)	49.23
②池田 翔紀	(市立長野3)	49.44
③高木 涼	(上田千曲3)	49.47

▶800m

①高橋 一輝	(長野高専3)	1:52.55
②畠山 龍大	(大町岳陽3)	1:54.05
③古川 晴貴	(木曾青峰3)	1:54.93

▶1500m	①富田 陸空 (佐久長聖2) 3:58.68	②小諸 (井出・井出・堀込・原) 3:19.39	③小林 幸音 (飯山2) 33.60
②服部 凱杏 (佐久長聖2) 3:58.11	③松商学園 (小池・神田・山口・柳沢) 3:20.15	▶ハンマー投(4.000kg)	①小林 幸音 (飯山2) 40.58(GR)
③島田 佳祐 (長野高専3) 4:02.64	▶学校対校	②坂井 美藍 (上田染谷丘2) 38.31	③藤本 優佳 (木曾青峰3) 36.96
▶5000m	①鈴木 芽吹 (佐久長聖2) 14:46.67	①松商学園 90	▶やり投(600g)
②服部 凱杏 (佐久長聖2) 15:00.66	②佐久長聖 59	①巾 こと美 (木曾青峰3) 39.13	②松本 優花 (更級農2) 39.11
③松崎 咲人 (佐久長聖3) 15:32.21	③長野高専 43	③北野 緋菜 (阿南3) 38.19	▶七種競技
▶110mH(1.067m) (-2.2)	【女子】	①齊藤 由佳 (飯田3) 3869	②清水 思 (上田染谷丘3) 3814
①岡村 州紘 (岩村田3) 15.54	▶100m (+1.0)	③大前 歌音 (伊那北1) 3756	▶4×100m
②酒井 和馬 (上伊那農3) 15.90	①宮澤 歩 (諏訪二葉3) 12.23	①市立長野 (綿貫・唐澤・田村・永原) 47.62(GR)	②東海大諏訪 (徳竹・今井・小林・北岡) 48.60
③越山 遥斗 (松本工2) 15.93	②深澤 あまね (佐久長聖1) 12.27	③佐久長聖 (橋本・深澤・中津・前田) 48.97	▶4×400m
▶400mH(0.914m)	③田村 純菜 (市立長野2) 12.28	①東海大諏訪 (小林・小林・藤岡・今井) 3:54.43	②松商学園 (友田・深澤・内川・樋口) 3:55.21
①岡村 州紘 (岩村田3) 53.81	▶200m (-2.3)	③長野日大 (一由・内山・春日・下田) 4:00.34	▶学校対校
②山内 一輝 (上伊那農3) 55.12	①友田 有紀 (松商学園2) 25.24	①長野東 60	②市立長野 56
③倉田 歩夢 (松商学園2) 55.36	②唐澤 花実 (市立長野2) 25.33	③東海大諏訪 44	◆第25回長野県中学校混成競技大会
▶3000mSC(0.914m)	③田村 純菜 (市立長野2) 25.60	◆期日：平成30年6月9日	◆場所：松本平広域公園陸上競技場
①三島 颯太 (佐久長聖3) 9:24.27	▶400m	【男子】	▶共通 四種競技
②小池 彪 (佐久長聖3) 9:31.02	①三和 瑠夏 (松本国際2) 57.56	①土屋 海斗(上田第五3) 2343点	②瀧内 善基(篠ノ井西3) 2335
③関 剛洸 (東海大諏訪3) 9:34.53	②樋口 虹夏 (松商学園2) 58.02	③石崎 祐希(犀陵3) 2267	【女子】
▶5000mW	③秋山 咲花 (岩村田3) 58.34	▶共通 四種競技	①土屋 ほのか(軽井沢3) 2999点 (JR・GR)
①小林 亮太 (東海大諏訪2) 21:08.15	▶800m	②市村 彩美(軽井沢3) 2733	③小林 弓珠(南宮3) 2699
②鈴木 英司 (長野工3) 21:17.88	①萩谷 楓 (長野東3) 2:10.37(GR)	◆第57回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会	◆期日：平成30年6月14-17日
③石井 慎也 (東海大諏訪3) 22:23.98	②藤岡 緩奈 (東海大諏訪3) 2:13.18	◆場所：福井県営陸上競技場	【男子】
▶走高跳	③中村 朱里 (長野東3) 2:13.79	▶100m (+1.0)	④中嶋 謙 (松商学園3) 10.77
①高田 幸之介 (松本県ヶ丘2) 2.02	▶1500m	▶200m (+2.0)	④中嶋 謙 (松商学園3) 21.68
②宮入 太優 (松本国際3) 2.02	①高松 いずみ (長野東2) 4:33.15	▶400m	④高橋 和真 (長野高専3) 48.79
③笠原 理央 (諏訪清陵3) 1.96	②萩谷 楓 (長野東3) 4:33.38	▶800m	①高橋 一輝 (長野高専3) 1:52.75
▶棒高跳	③高安 結衣 (長野東3) 4:36.26	①高橋 一輝 (長野高専3) 1:52.75	②畠山 龍大 (大町岳陽3) 1:53.09
①中山 蓮 (高遠3) 4.50	▶3000m	⑥熊谷 康成 (伊那北3) 1:54.23	▶1500m
②竹内 優 (長野吉田3) 4.00	①高松 いずみ (長野東2) 9:27.79(GR)	③富田 陸空 (佐久長聖2) 3:52.09	④服部 凱杏 (佐久長聖2) 3:52.33
②石坂 巽海 (中野立志館2) 4.00	②小原 茉莉 (長野東2) 9:40.27	▶5000m	①服部 凱杏 (佐久長聖2) 14:15.31
▶走幅跳	③小林 成美 (長野東3) 9:46.40	④鈴木 芽吹 (佐久長聖2) 14:21.26	④鈴木 芽吹 (佐久長聖2) 14:21.26
①穗苺 康人 (松商学園3) 7.33(+3.8)	▶100mH(0.838m) (-2.6)		
②山浦 溪斗 (小諸3) 7.31(+3.9)	①中津 晴葉 (佐久長聖1) 15.16		
③神田 来夢 (松商学園3) 7.17(+3.0)	②林 千尋 (上伊那農2) 15.16		
▶三段跳	③永原 朱夏 (市立長野3) 15.54		
①須甲 寛大 (須坂3) 14.36(+0.5)	③麻原 優花 (松本国際2) 15.54		
②山浦 溪斗 (小諸3) 14.23(+0.1)	▶400mH(0.762m)		
③小池 哲平 (長野吉田2) 13.57(+0.5)	①金森 佑奈 (伊那北3) 1:02.15		
▶砲丸投(6.000kg)	②山崎 萌々子 (長野高専3) 1:02.74		
①金子 周平 (松本工3) 12.73	③林 千尋 (上伊那農2) 1:03.74		
②高橋 理人 (須坂創成2) 12.66	▶5000mW		
③竹内 恒平 (松本工2) 12.55	①落合 早峰 (東海大諏訪3) 24:38.63		
▶円盤投(1.750kg)	②平澤 優佳 (松川3) 26:50.82		
①小林 篤央 (上田3) 37.19	③原田 琴菜 (長野西3) 27:34.08		
②西牧 寛海 (塩尻志学館3) 34.95	▶走高跳		
③赤尾 聡良 (上田染谷丘2) 34.18	①塩原 美里 (松本県ヶ丘3) 1.58		
▶ハンマー投(6.000kg)	②若林 瑞季 (中野立志館1) 1.55		
①萩原 倅司 (梓川3) 55.12(GR)	③細尾 咲衣 (長野日大2) 1.55		
②山田 勇里 (梓川2) 48.91	③岡田 朋佳 (市立長野1) 1.55		
③松田 直也 (上伊那農3) 46.75	▶棒高跳		
▶やり投(800g)	①北村 美結 (長野工3) 3.30(GT)		
①千葉 俊紀 (須坂3) 60.19	②小林 由依 (下諏訪向陽1) 3.00		
②中野 龍星 (松本県ヶ丘3) 59.64	③有田 芽生 (松本深志2) 2.80		
③茂木 達哉 (岩村田3) 53.65	▶走幅跳		
▶八種競技	①長谷尾 彩華 (大町岳陽2) 5.25(-0.5)		
①穗苺 康人 (松商学園3) 5248	②小林 涼美 (飯山2) 5.17(-1.5)		
②千葉 俊紀 (須坂3) 4715	③根橋 佑奈 (長野日大3) 5.13(+0.9)		
③井出 直哉 (小諸3) 4703	▶三段跳		
▶4×100m	①宮澤 歩 (諏訪二葉3) 11.99(+0.6) (GR)		
①松商学園 (今西・中嶋・西村・柳沢) 41.46	②根橋 佑奈 (長野日大3) 10.81(-0.2)		
②市立長野 (池田・宮下・伊東・齊藤) 41.82	③唐澤 純夏 (上伊那農2) 10.76(+1.9)		
③小諸 (山浦・堀込・井出・原) 42.41	▶砲丸投(4.000kg)		
▶4×400m	①巾 こと美 (木曾青峰3) 11.93		
①市立長野 (宮下・久保田・伊東・池田) 3:18.44	②小林 弥希 (松商学園2) 11.78		
	③白井 華 (更級農2) 11.33		
	▶円盤投(1.000kg)		
	①溝口 佳歩 (佐久長聖2) 34.74		
	②武藤 衣里加 (野沢南3) 34.27		

- ▶400mH(0.914m)
- ①岡村 州紘 (岩村田3) 53.61
- ⑥山内 一輝 (上伊那農3) 54.35
- ▶3000mSC(0.914m)
- ②三島 颯太 (佐久長聖3) 9:18.46
- ③小池 彪 (佐久長聖3) 9:18.48
- ④関 剛洸 (東海大諏訪3) 9:18.75
- ▶5000mW
- ①鈴木 英司 (長野工3) 21:43.39
- ③小林 亮太 (東海大諏訪2) 22:18.54
- ④石井 慎也 (東海大諏訪3) 22:19.01
- ▶走高跳
- ②高田 幸之介 (松本県ヶ丘2) 2.03
- ③宮入 太優 (松本国際3) 2.00
- ⑥笠原 理央 (諏訪清陵3) 1.95
- ▶棒高跳
- ⑤中山 蓮 (高遠3) 4.40
- ▶走幅跳
- ④山浦 溪斗 (小諸3) 7.30(+3.2)
- ▶三段跳
- ③須甲 寛大 (須坂3) 14.21(+0.7)
- ▶やり投(800g)
- ⑤中野 龍星 (松本県ヶ丘3) 57.91
- ▶八種競技
- ①穂苅 康人 (松商学園3) 5306
- ▶4×100m
- ③松商学園 (神田・中嶋・柳沢・西村) 41.44
- ▶学校対校
- ③佐久長聖 39
- 【女子】
- ▶100m (+1.9)
- ④宮澤 歩 (諏訪二葉3) 12.06
- ▶400m
- ⑤樋口 虹夏 (松商学園2) 57.32
- ▶800m
- ③萩谷 楓 (長野東3) 2:10.44
- ④藤岡 緩奈 (東海大諏訪3) 2:10.77
- ▶1500m
- ①萩谷 楓 (長野東3) 4:22.90
- ②高松 いずみ (長野東2) 4:23.86
- ④藤岡 緩奈 (東海大諏訪3) 4:25.56
- ▶3000m
- ①高松 いずみ (長野東2) 9:20.27
- ③小原 茉莉 (長野東2) 9:28.24
- ④小林 成美 (長野東3) 9:28.83
- ⑤千葉 麻里子 (飯田1) 9:37.20
- ▶400mH(0.762m)
- ④金森 佑奈 (伊那北3) 1:02.43
- ④林 千尋 (上伊那農2) 1:02.43
- ▶5000mW
- ①落合 早峰 (東海大諏訪3) 24:23.64
- ⑤原田 琴菜 (長野西3) 26:06.26
- ▶走高跳
- ⑥塩原 美里 (松本県ヶ丘3) 1.58
- ▶棒高跳
- ①北村 美結 (長野工3) 3.40(GR)
- ▶三段跳
- ③宮澤 歩 (諏訪二葉3) 12.54(+2.4)
- ▶砲丸投(4.000kg)
- ④巾 こと美 (木曾青峰3) 11.44
- ⑤臼井 華 (更級農2) 11.36
- ▶円盤投(1.000kg)
- ⑤小林 幸音 (飯山2) 35.91
- ▶やり投(600g)
- ②北野 緋菜 (阿南3) 43.03
- ⑤松本 優花 (更級農2) 40.90
- ▶七種競技
- ⑤齊藤 由佳 (飯田3) 4039
- ▶4×100m
- ④市立長野 (綿貫・唐澤・田村・永原) 47.97

- ▶4×400m
- ④東海大諏訪 3:52.46 (今井・小林・藤岡・小林)
- ⑤松商学園 3:53.62 (深澤・友田・内川・樋口)
- ▶学校対校
- ④長野東 42
- ⑥東海大諏訪 25

◆第102回日本陸上競技選手権大会 50km競歩

- 期日：平成30年4月15日
- 場所：輪島50km競歩路(石川)
- ▶【男子】50kmW
- ⑤石井 克弥(慶応大3) 4:05:46

◆第18回アジアシニア陸上競技選手権大会

- 期日：平成30年6月7日～10日
- 場所：長良川陸上競技場(岐阜)
- ▶【男子】10000m
- ②中谷 雄飛(早稲田大1) 30:04.24
- ▶【男子】3000mSC(0.914m)
- ④山本 嵐(城西大1) 9:02.41
- ▶【女子】3000m
- ②和田 有菜(名城大1) 9:14.13

◆2018日本学生陸上競技個人選手権大会

- 期日：平成30年6月15日～17日
- 場所：Shonan BMW 平塚(神奈川)
- ▶【男子】棒高跳
- ⑥内山 朋也(筑波大2) 5.10

◆第20回記念長野マラソン大会 視覚障がい者の部

- 【男子】<B1クラス>
- ①安藤 隆晴 兵庫県 長居わーわーず 3:47:45 伴走者 篠原芳紀
- ②木暮 恒男 長野市 ぐらしの三療院 3:51:56 伴走者 家塚慎二
- ③浅川 忠二 山梨県 NBMA 3:53:53 伴走者 小林文雄/関口昭人
- <B2クラス>
- ①鈴木 卓 新潟県 ダム 2:58:32 伴走者 阿部知浩/保科博信
- ②小林 丈二 愛知県 天白川走友会 3:08:48 伴走者 澤原 雄一
- ③金子 元輝 神奈川県 バンバンクラブ 4:16:07 伴走者 稲垣伊都朗
- <B3クラス>
- ①塩川 昭彦 小諸市 NBMA 3:28:01
- 【女子】<B1クラス>
- ①水野 麻子 神奈川県 3:39:02 伴走者 北野 聡/片山 麻美
- ②井口 深雪 茨城県 4:12:12 伴走者 古旗 真理/渡辺 幸次
- ③宮城 好子 埼玉県 4:47:21 伴走者 畠中 雅子



長野マラソン 完走者 記念メダル

◆第102回日本陸上競技選手権大会

期日：平成30年6月22日～24日
場所：維新みらいスタジアム(山口)

- 【男子】
- ▶800m 6連覇
- ①川元 奨(スズキ浜松AC) 1:48.35
- ▶三段跳
- ②石川 和義(長野吉田AC) 16.20(+0.6)
- ⑤中山 昂平(中京大) 16.00(+0.6)
- ▶T54 1500m
- ①樋口 政幸(プーマジャパン) 3:08.27
- 【女子】
- ▶1500m
- ⑦和田 有菜(名城大) 4:20.59
- ▶三段跳
- ⑥宮坂 楓(ニッパツ) 12.79(+1.5)

ジャカルタ2018アジア競技大会 内定者

- 【男子】800m 川元 奨(スズキ浜松AC) 混成 右代 啓祐(国士舘クラブ) 中村 明彦(スズキ浜松AC)
- 【女子】混成 山崎 有紀(スズキ浜松AC) 混成 ヘンプヒル恵(中央大) 400mH 宇都宮 絵莉(長谷川体育施設)

長野マラソンとは

長野マラソンは1998年に開催された長野冬季オリンピックの感動を末永く国民の記憶にとどめ、地域のスポーツ、文化の発展とオリンピックムーブメントの広がりにも寄与します。

また、国内外の一線級のランナーと市民ランナーが同じコースを一緒に走ることなどで、広くマラソン競技の普及を目的として、マラソン愛好者の底辺拡大を目指します。

長野マラソンがめざすもの

長野マラソンは、長野オリンピックの理念を継承し、次世代の子供たちに夢を与えるとともに、美しく豊かな自然との共存をめざした大会とします。(長野マラソンプログラムより抜粋)

◆第14回長野車いすマラソン大会

- 48名が春の信濃路を駆け抜け、44名が完走。大会始まって以来の雨の中でのレースとなりました。
- <各クラスの優勝選手>
- 【T53/54男子】
- 樋口 政幸 46:36 7回目の優勝
- 【T52男子】
- 佐藤 友祈 53:30 初優勝
- 【T53/54女子】
- 中山 和美 53:34 6連覇
- 【T52女子】
- 田中 照代 1:14:06 初優勝



長野マラソンフェアウエルバーティ 鏡開きの後、英語で乾杯のご発声をする和服姿の原山長野県教育長

長野陸協会議録

第16回 評議員会 平成30年3月30日(金)13:30~16:00

場所：松本市アルウィン(第1会議室)
 出席者数 評議員8名(開催要件：定款第20条 定足数1/2) 理事10名
 議事録署名人 浦野評議員、上原評議員
 議事(議長 駒澤評議員)
 会議に先立ち、萩原会長より挨拶。

1. 協議事項(すべて原案どおり承認された。)
 議案第1号 2018年度事業計画案について
 議案第2号 2018年度予算案について

【報告事項】

- (1)2017年度事業中間報告
 (2)H29年度に樹立された長野県の記録の承認について
 (3)委員会に関わる規程・内規等の変更
 (4)2027国体プロジェクトについて (5)その他

第37回 理事会 平成30年4月22日(日)17:00~17:55

場所：松本平運動公園陸上競技場(会議室)
 出席者数 理事21名(開催要件定款第36条定足数1/2) 監事2名
 日本選手権混成実行委員会 浦野義忠 中村勝彦
 議事録署名人 代表理事内山、監事熊谷
 議事(議長 内山代表理事)

1. 協議事項(すべて原案どおり承認された。)
 議案第1号 2018年日本選手権混成競技(実行委員会)
 議案第2号 各専門委員会委員の交代について
 議案第3号 春の高校伊那駅伝反省について
 議案第4号 国体プロジェクト関係について

【報告事項】

- (1)長野陸協委託業務見積もり結果と業者確定について
 (2)要覧について
 (3)年間広告、日本混成広告について
 (4)名刺作成について (5)その他

第38回 理事会 平成30年5月18日(金) 16:00~18:00

場所：松本平運動公園陸上競技場(会議室)
 出席者数 理事17名(開催要件定款第36条 定足数1/2)、監事2名
 議事録署名人 代表理事内山、監事宮島
 議事(議長 内山代表理事)

1. 協議事項(すべて原案どおり承認された。)
 議案第1号 第2017年事業報告案について
 議案第2号 2017年度決算報告案について
 議案第3号 2018年度第一次補正予算案について
 議案第4号 2027年国体陸上競技会場他の選定等について
 議案第5号 第102回日本選手権混成競技について
 議案第6号 長野マラソン反省について
 議案第7号 第28回長野県市町村・小学生駅伝の反省
 議案第8号 ジュニアオリンピックの早生まれ高校1年生の参加について

その他の議案

- (1)名誉役員(顧問 下川泰秀氏、参与 大竹義雄氏)の任命
 (2)長野陸協主催大会に於ける審判員委嘱について
 (3)長野県主催大会に於ける、顧問参与等座席の設置について

【報告事項】

- (1)伊那駅伝の反省 (2)小学生大会前日の準備について

- (3)新ストラップ完成 (4)次回理事会(6月23日)開催しない

第17回 評議員会 平成30年6月1日(金)16:00~18:00

場所：松本市アルウィン(第10会議室)
 出席者数 評議員8名(開催要件：定款第20条 定足数1/2) 理事12名
 議事録署名人 駒澤評議員、富松評議員
 議事(議長 浦野評議員)

1. 協議事項(すべて原案どおり承認された。)
 議案第1号 2017年度事業について
 議案第2号 2017年度決算について
 議案第3号

- (1)2018年度第一次補正予算について
 (2)選手育成強化積立金について
 (3)役員等の報酬について

【報告事項】

- (1)2027年国体陸上競技会場地の選定
 (2)第102回日本選手権混成競技について
 (3)長野マラソン反省事項
 (4)第28回長野市町村対抗駅伝・第14回長野市町村対抗小学生駅伝競走大会反省について
 (5)ジュニアオリンピックの早生まれ高校1年生の参加について：今年は見送り例年どおり中学生のみとする
 (6)信濃毎日新聞社への挨拶について
 (7)長野市スポーツ課への挨拶について
 (8)第35回長野県小学生大会について
 (9)栄章関係について

第13回 (平成30年度前期) 全体協議会

平成30年6月24日(日) 16:30~18:30
 場所：松本平運動公園陸上競技場(役員室)
 出席者数 協議員21名 理事16名 監事1名
 進行 内山代表理事

【報告事項】

1. 第17回評議員会 協議事項の報告
 2. 第38回理事会報告事項

【協議員からの意見】

1. 競技会意向調査と競技役員委嘱について
 2. 協議員の任務・責任及び全体協議会の必要性について
 3. 2019年度長野陸協改選に向けて、全体協議会としての候補者名簿提出について
 4. 2019年度長野陸協改選に向けての進め方について

長野陸協からのお知らせ

1. 「長野陸上競技協会創立70周年記念誌」、要覧、販売中
 70周年記念誌が、若干残っております。購入を希望する方は、長野陸協HPの申込用紙か E-mail <info07@nagano-rk.com> でお願ひします。1冊税込み 2,500円(郵送希望の場合送料100円追加)、代金は指定の口座にお振り込み下さい。

【主な掲載内容】

<寄稿>○東海大学陸上競技部駅伝監督 両角速氏、○千代馨脩氏、○千代 和三郎氏、○依田良春氏、○大日向暁子氏
 <長野陸協 30年のあゆみ>、<記録の変遷>、歴代ランキング、長野県の記録、歴代県選手権者、<長野陸協関係> 栄章の記録、歴代役員、登録審判名簿他、A4版 135P
 要覧、新ストラップ等もご購入下さい。(事務局長)

2. 長野県審判登録数 (2017/12/31現在、年齢は2018/4/1現在) 合計877名(男753,女124)

年代	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		90代	
性	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
年代計	5		104		110		138		184		171		111		52		2	
国体対象	541										(712)							
全県	3	2	64	40	88	22	114	24	166	18	159	12	106	5	51	1	2	0
南信	1	2	22	18	24	2	28	6	38	5	39	5	27	1	18	0	1	0
中信	2	0	12	7	33	8	37	10	44	3	44	3	25	1	13	0	1	0
北信	0	0	21	12	19	8	29	2	50	7	45	1	35	3	12	1	0	0
東信	0	0	9	3	12	4	20	6	34	3	31	3	19	0	8	0	0	0
飯伊	1	0	10	2	8	0	3	1	11	0	11	1	3	0	3	0	0	0
上伊那	0	2	8	12	5	1	13	1	13	0	10	1	11	0	5	0	1	0
諏訪	0	0	4	4	11	1	12	4	14	5	18	3	13	1	10	0	0	0
木曾	0	0	2	1	1	2	4	1	5	0	8	1	2	1	1	0	0	0
塩尻	0	0	1	1	5	4	7	2	4	0	11	0	3	0	2	0	0	0
松本	0	0	6	4	19	1	12	4	10	1	7	1	9	0	7	0	1	0
安曇野	1	0	2	0	4	1	10	1	6	1	3	1	2	0	0	0	0	0
大北	1	0	1	1	4	0	4	2	19	1	15	0	9	0	3	0	0	0
千曲	0	0	1	2	2	0	4	2	6	0	9	1	7	0	3	0	0	0
長野市	0	0	15	4	12	7	17	0	27	6	16	0	18	1	6	1	0	0
須坂	0	0	0	0	2	0	0	0	10	1	8	0	6	2	2	0	0	0
飯水	0	0	3	1	0	0	4	0	2	0	1	0	3	0	1	0	0	0
中高	0	0	1	0	2	1	3	0	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0
上水内	0	0	1	5	1	0	1	0	2	0	5	0	1	0	0	0	0	0
上田	0	0	3	3	2	2	8	1	15	1	20	2	7	0	5	0	0	0
佐久	0	0	6	0	10	2	12	5	19	2	11	1	12	0	3	0	0	0

競技者登録数 (2017/12/31現在、年齢は2018/4/1現在) 合計808名(男664,女144)

年代	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		90代	
年代計	152		229		174		141		84		21		7		0		0	
性	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
全県	91	61	187	42	163	11	125	16	72	12	19	2	7	0	0	0	0	0
南信	45	34	50	5	44	2	26	4	18	1	8	1	2	0	0	0	0	0
中信	20	2	80	25	36	3	32	0	12	6	0	1	0	0	0	0	0	0
北信	9	2	37	10	51	2	51	7	25	3	8	0	3	0	0	0	0	0
東信	17	23	20	2	32	4	16	5	17	2	3	0	2	0	0	0	0	0
飯伊	17	14	17	4	12	0	8	0	2	0	3	0	0	0				
上伊那	15	9	22	0	13	1	11	3	8	0	3	1	1	0				
諏訪	13	11	11	1	19	1	7	1	8	1	2	0	1	0				
木曾	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0				
塩尻	9	0	12	0	5	0	4	0	3	1	0	0	0	0				
松本	6	2	48	22	19	1	11	0	2	4	0	1	0	0				
安曇野	4	0	9	2	6	2	9	0	3	0	0	0	0	0				
大北	1	0	10	0	5	0	7	0	3	1	0	0	0	0				
千曲	0	0	3	0	10	0	6	0	1	0	0	0	0	0				
長野市	5	0	14	7	14	1	23	7	18	2	4	0	2	0				
須坂	0	0	7	1	7	1	12	0	3	0	0	0	1	0				
飯水	2	1	3	1	4	0	4	0	1	0	2	0	0	0				
中高	2	1	9	0	9	0	2	0	1	0	2	0	0	0				
上水内	0	0	1	1	7	0	4	0	1	1	0	0	0	0				
上田	0	0	7	1	20	1	12	2	10	1	1	0	0	0				
佐久	17	23	13	1	12	3	4	3	7	1	2	0	2	0				

※2018年度はマスターズ連盟の登録が義務づけられたため、競技者数が増加する。7/1現在で185名が登録済み

表2 長野陸協審判員年代別・男女別数 (2017年12月31日陸連登録数)

性\年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
女性(人)	2	40	22	24	18	12	5	1	0	124
割合(%)	40.0	38.5	20.0	17.4	9.8	7.0	4.5	1.9	0.0	14.1
男性(人)	3	64	88	114	166	159	106	51	2	753
割合(%)	60.0	61.5	80.0	82.6	90.2	93.0	95.5	98.1	100.0	85.9
合計(人)	5	104	110	138	184	171	111	52	2	877



「審判数を示せ」というご意見が協議員から出されましたので、P15に地区別数、表2、図2に男女年代別を示しました。女性増を含む対応策のご提案をお願いします。
(理事長)



伊藤副会長「体育功労者」知事表彰



本協会会長代行の伊藤利博先生が、長年に渡る本協会並びにスポーツ分野での顕著な功績が認められ、去る6月5日(火)阿部知事から表彰されました。本協会では平成11年の依田良春先生に次いで二人目。おめでとうございます。

3. 女性部会から 理事 女性部長 芳川 千恵



左から丸山・加藤委員、芳川部長、川上・春原・石川委員

長野陸協女性部では、2027年の長野国体に向け、女性審判員の数を全体の3割以上にすることを目指し活動をしています。第1回部会(5/26)の議事内容をご報告申し上げます。

- (1)2018年女性部活動計画について 第2回9/29、第3回2月又は3月(昨年度同様、総務委員会と合同も考慮する)
- (2)女性部(女性委員会)のある愛知陸協『第15回愛知レディース陸上競技大会』(瑞穂)を7月1日に視察した。
- (3)県内女性審判員実態調査アンケートを、6月16日-17日の日本混成大会で実施した。
- (4)今年度の女性審判員調査及び具体的解決案について 高校3年生にB級審判資格を取ってもらうタイミングで、女性審判員の確保をしたい。服装から興味を引くように、女性部をモデルに服装変換をする。(小物、パンツ等)
- (5)国体合宿での女子選手対象の女性部員によるミニ講演会の実施(8月上旬頃)
- (6)その他:競技場に関する女性部としての要望。
 - ①女性用更衣室は使いやすく清潔感があること。
 - ②シャワー室の充実。試合後に利用できること。
 - ③女性用トイレを増やしてほしい。
 - ④女性専用の休憩所の設置(場合によっては誰でも使えるように変更可能な部屋)
 - ⑤大会時に、小さなお子さんがある女性審判員の為の授乳室や託児所(資格のある保育士がいること)の設置。



第17回 U20世界陸上競技選手権大会に 和田、中谷選手が出場

2018年7月10(火)~7月15日(日)にフィンランドのタンペレで開催される標記大会に派遣する選手が日本陸連から発表され、長野県関係では下記2名が選出されました。

- ☆男子 5000m 中谷雄飛(なかや ゆうひ) 早稲田大学1年
- ☆女子 3000m 和田有菜(わだ ゆな) 名城大学1年

4. 2027年国体競技会場地希望調査他 理事長 内山了治

本協会第38回理事会にて、陸上競技開催希望市町村を「松本市」と決定し、評議員会でも異論は無かったため、7/6締切までに、国体準備室へ調書を提出します。今後は、各市町村の希望と合致した競技から調整を経て、基本方針、基準に照らし、長野県準備委員会・常任委員会で審議されることとなります。2015年現理事会発足当初から3年かけ、各地区・支部の意見を汲み取り、ステップアップできました。

陸協の4-6月は毎年、決算期に加え、理事会・評議員会・全体協議会の準備、日本混成他毎週の競技会対応等理事27名で取り組んでいます。特に葛城事務局長、青柳審判部長、横打競技部長、瀧沢記録部長は7月末まではほぼ毎週の競技会と準備等で息つく暇もない状態です。様々なご批正は謙虚に受け止めますが、長野陸協の将来を見据え、「私ならこうする」というご提案を頂けると非常に嬉しく思います。

会報 162号(2018/3/25)の訂正:お詫び申し上げます

- ・P1 発行年月日【訂正】2018年:[誤]2017年
- ・P11 おくやみ【訂正】川上 修様(69):[誤](64)
- ・P11 おくやみ【訂正】鮎澤 亨様(80):[誤]亮
- ・P11 おくやみ【訂正】中川 弘道様(80):[誤](81)

2018年度 年間をととして長野陸協にご支援をいただいている企業の皆様 (7月1日現在、順不同・敬称略)

- 【共 催】信濃毎日新聞社 / SBC信越放送株式会社 【ゴールドスポンサー】しなのメイト株式会社 / ミズノ株式会社
- 【陸上競技大会横断幕】長野菅公学生服株式会社/ジュネス八ヶ岳/株式会社中嶋製作所/コトヒラ工業株式会社
- 【バナー広告】奥アンツーカ株式会社/株式会社JTB 中部 長野支店/株式会社アクティブライフ/株式会社杏花印刷 (N sports) 株式会社日本旅行長野支店/みつはしクリニック/東武トップツアーズ株式会社
- 【プログラム広告】有限会社シナノ体器/株式会社マル井/長野菅公学生服株式会社/株式会社長野銀行/プレステージ株式会社 株式会社匠電舎/中野土建株式会社/株式会社キッズ・コーポレーション/株式会社丸山商店/JA全農長野/長谷川体育施設株式会社 セイコータイムシステム株式会社信越営業所/株式会社ニシ・スポーツ/株式会社長野ホテル犀北館/魚岩旅館/菅平高原旅館組合 サニアパーク/シンコースポーツ株式会社/株式会社ワコールホールディングス/株式会社信州グリーン/松本ガス株式会社 株式会社ヤマウラ/株式会社タカサワマテリアル/株式会社巴屋/株式会社フロンティア・スピリット/株式会社タヤマスポーツ 有限会社ユニバーサル運輸/瑞広庵/社会医療法人栗山会 飯田病院/株式会社杏花印刷/長野交通株式会社/株式会社高見澤 あいおいニッセイ同和損保保険株式会社/株式会社アイワ徽章 (以上)